

市民公益活動ポイント制度 活動主催団体アンケート調査・座談会の実施結果について

1 アンケート調査の実施概要

- ◆実施対象：平成30年度中に、活動主催団体としてポイント券を配付した団体
- ◆集計対象：平成31年1月30日から令和元年7月31日までに市民活動サポートセンターに提出されたもの（44団体／49団体）

◆活動主催団体としてポイント制度に参加した回数（平成30年度末現在）

項目	件数(団体数)	構成比
1 初めて(1年目)	2件	4.5%
2 2年目	7件	15.9%
3 3年目	5件	11.4%
4 4年目	30件	68.2%
合計	44件	

◆アンケート結果

質問事項（全回答数）	項目（回答数が多い順）	回答数	構成比
1 新しい参加者を増やすためにポイント券を活用したか（44件）	①活用していない	25件	56.8%
	②活用した	19件	43.2%
2 活動に参加した理由が「ポイント券をもらえるから」という参加者がいたか（44件）	①いなかった	16件	36.4%
	①聞いていない	16件	36.4%
	③いた	12件	27.3%
3 今後も活動主催団体として、ポイント券を配付したいか（44件）	①配付したい	40件	90.9%
	②配付したくない	4件	9.0%
(1) 質問3で「①配付したい」と答えた人のみ			
今後も活動でポイント券を配付したい理由【複数回答】（66件）	①団体に寄附されることで、活動の励みになっているから	26件	39.4%
	②ポイント券をもらった参加者が喜んでいて、継続して参加してくれるから	18件	27.3%
	③ポイント券を配ることが、参加者の増加に繋がっているから	14件	21.2%
	③その他	8件	12.1%

質問事項（全回答数）	項目（回答数が多い順）	回答数	構成比	
3	(2)質問3で「②配付したくない」と答えた人のみ			
	今後の活動でポイント券を配付したくない理由【複数回答】 (7件)	①ポイント券を配付しても参加者の増加に繋がらないから	3件	42.9%
		②制度が複雑で分かりにくいから	1件	14.3%
		②手続きが煩雑だから	1件	14.3%
		②ポイント券の必要性を感じないから	1件	14.3%
		②その他	1件	14.3%
		③活動参加者からポイント券の需要がないから	0件	0.0%
4	<p>主な自由意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体につき通算5回（5年度）までの回数制限を延長してほしい。 ・交付枚数を減らさないでほしい。 ・枚数あたりのポイント数を増やしてほしい。 ・ポイント券がなくても活動するが、活動参加者はポイント券を受け取ることで評価されたと感じ、活動主催団体にとっても資金元となっているため、制度の継続を希望する。 ・ポイント券を利用できる施設の拡大（市内の食堂や商店街、市民活動サポートセンターロッカー使用料など） ・複数の事業や活動を行っている、どの活動が配付対象活動であるか分かりにくい。 			

2 座談会の実施概要

(1) 開催日等

日 時：平成 30 年 12 月 7 日（金）14 時 00 分から 15 時 20 分まで
場 所：市民活動サポートセンター
参加者数：10 団体、12 名
意見票の提出のみ：5 団体（当日は欠席）
事 務 局：市民生活課 2 名、市民活動サポートセンタースタッフ 1 名

(2) 実施方法

制度の現状について資料を用いて説明を行った後、4～5 人ずつのグループに分かれ、ワールドカフェ方式で以下の各テーマについて意見交換を行った。

No.	テーマ
1	ポイント制度に参加して良かったことを教えてください。
2	ポイント制度に参加して気付いた問題点があれば教えてください。
3	どのような制度があれば、市民公益活動へ参加する方が増えると思いますか。（団体独自で、新規参加者を増やす取り組みをされていたら教えてください）

なお、当日参加できなかった団体から意見票の回収も行った（提出は任意）。

(3) 意見交換の内容（主な意見）

① ポイント制度に参加して良かったこと

意見要旨	具体的意見
ア) 寄附により団体の活動資金として使えることで、活動の一助となっている。	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア活動は無報酬ではあるが活動費用はかかるので、活動参加者からポイント券を寄附してもらうことで、グループの活動資金になり、有効活用できる。ずっと継続して欲しい。・参加費の一助となっている（受益者負担の減）。・必要経費（コピー代や材料代）に充当でき、大変良かったと好評。・会員からの寄附を活動場所である会議室の利用料に充当しており、助かっている。・弁当や交通費などが活動者の持ち出しになっているため、僅かではあるが活動に参加する励みになった。
イ) 公的な制度により活動を評価されたことで、活動に対する意欲が高まった。	<ul style="list-style-type: none">・ポイント券という形で自分たちの活動が評価され、励みになっている。・ポイント券を配ることで、活動参加者が自分の活動を喜んでもらえていると感じ、意欲を増しているようである。・活動を継続するために、もらったポイント券を運動施設で利用するなど、健康維持に努めるようになった。

② ポイント制度に参加して気付いた問題点

意見要旨	具体的意見
<p>ア) 申請・報告手続きが複雑であり、気軽に参加しづらい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 申請書に活動予定回数や人数などを記載するようになっているが、申請時点では活動スケジュールが決まっていないことや、実際の活動とのずれが生じることがある。スケジュールの記載がなくてもポイント券をもらえるよう手続きの簡素化や、もっと気軽に利用できる仕組みにしてもらえると良い。 実績報告書に、活動日ごとの参加者人数を記載する作業が煩雑である。
<p>イ) どこで利用できるのか分かりづらい、利用可能施設が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用できる施設一覧は、もっと具体的な記載があるとわかりやすい。 利用施設を増やしてほしい（戦艦三笠、すかなごっこ、ソレイユの丘など）。 商業施設や地元商店街で金券として使えらると、ポイント券の魅力が向上する。 ポイント券の周知の仕方を考える必要がある。 ポイント券をもらっても使い道がないから、団体への寄附に使われているのではないか。
<p>ウ) 寄附者に記名してもらうことが手間、寄附手続きを簡素化してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動参加者から寄附されるポイント券の名前が無記入であることが多い。記名をお願いするのが大変なので、記名制は廃止してほしい。 寄附者に記名をお願いしているが、架空の名前を書いて寄附することも可能だと思った。
<p>エ) 制度全般に関すること (交付対象とする活動の範囲、財源の拡充等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の配付枚数の格差が大きい。団体ごとに上限枚数を決めて、ポイント券を配付できる団体を増やし、裾野を広げたほうが良いのではないか。 横須賀市内だけでなく、隣接の市町での活動も交付対象としていただきたい。 ポイント券が申請枚数どおり交付されないことは理解できるが、審査が年3回あるので、前期に減らされた枚数を次の期で団体に還元してもらえると良い。 ポイント制度に参加する団体が増えているのに、予算がないからという理由で交付枚数を減らされてしまうと、団体への寄附が減り、交通費等の経費を活動者自身が負担しなければならない。寄附だけに頼らず他の財源を検討してほしい。 活動参加者の健康意識が高まってきているので、医療費の削減、未病という観点から予算化できないか。 (活動資金が欲しいので) ポイント券に代わる、別の形(支援の方法)を考えられないか。

③ 市民公益活動への参加者を増加させる方法に関する意見

意見要旨	具体的意見
ア) 各団体による 発信方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のチラシを作成し、会からの送付物に必ず同封するよう にしている。 ・例会で配付する会報に、入会についての案内を記載してい る。 ・団体の活動を見学してもらってはどうか。 ・チラシや会報で団体の魅力を発信していくことが必要であ る。 ・こども会に対して周知を行うことで、自分の子どもや孫をき っかけとして、祖父母がボランティアを始めるようになるの ではないか。
イ) 中間支援組織 が実施している 取組みを活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターで実施している、「夏のボランティ ア・市民活動体験（若者向け）」キャンペーンへの参加、「ひ くてあまた月間（定年退職世代向け）」情報紙への活動情報の 提供、FMブルー湘南の市民活動紹介番組への出演などで、積 極的に自分の活動団体をPRしている。 ・ボランティアセンターからの紹介や、口コミにより活動参加 者が増加している。
ウ) その他 (きっかけづくり に関する新たな 仕組みの提案)	<ul style="list-style-type: none"> ・50～60代といった若い世代を対象としたボランティア活動の 体験参加制度があると良いのではないか。 ・外出してもらいやすくするために、バスの無料券を配付して はどうか（京急などに寄附のお願いをする）。 ・（ポイント券に限らないが）自分に介護が必要となったときに 使える介護券に換えられると良い。